



2023年2月期 業績説明資料
(2022年3月～2022年11月)

株式会社メタリアル (東証グロース：6182)



2023年1月13日

**既存事業の営業利益は順調に進捗
メタバース事業は「AI×メタバース」へ**

連結前年比：売上105.6% 営業利益136.6%

MT事業前年比：売上100.4% 営業利益117.0%

メタバース事業への当期投資：338百万円

メタバース事業を除いた営業利益：708百万円

2023年2月期第3四半期 連結損益計算書

(単位：百万円)

	2022年2月期 第3四半期	2023年2月期 第3四半期	前年同期比	2022年2月期 第3四半期 (メタバース 事業除く)	2023年2月期 第3四半期 (メタバース 事業除く)	前年同期比
売上高	3,074	3,254	105.9%	3,072	3,245	105.6%
売上原価	1,100	1,153	104.9%	1,099	1,153	104.9%
売上総利益	1,974	2,100	106.4%	1,972	2,091	106.0%
販売費及び 一般管理費	1,828	1,731	94.7%	1,454	1,383	95.1%
営業利益	145	369	254.0%	518	708	136.6%
経常利益	167	397	237.0%			
親会社株主に 帰属する当期 純利益	▲80	155	—%			

2023年2月期第3四半期 販管費 前年同期比較

(単位：百万円)

	2022年2月期 第3四半期	2023年2月期 第3四半期	前年同期比	2022年2月期 第3四半期 (メタバース 事業除く)	2023年2月期 第3四半期 (メタバース 事業除く)	前年同期比
販売費及び 一般管理費	1,828	1,731	94.7%	1,454	1,383	95.1%
採用・人件費	991	881	88.9%	855	797	93.2%
広告費	129	161	124.8%	124	137	110.7%
支払手数料	95	87	92.0%	89	81	91.0%
販売手数料	102	85	83.9%	102	85	83.9%
ネットワーク費	81	92	114.3%	71	89	124.5%
研究開発費	193	220	113.7%	50	86	170.1%
業務委託料	50	109	217.9%	23	32	138.7%
その他	184	91	50.4%	135	71	53.8%

2023年2月期第3四半期 MT事業 前年同期比較

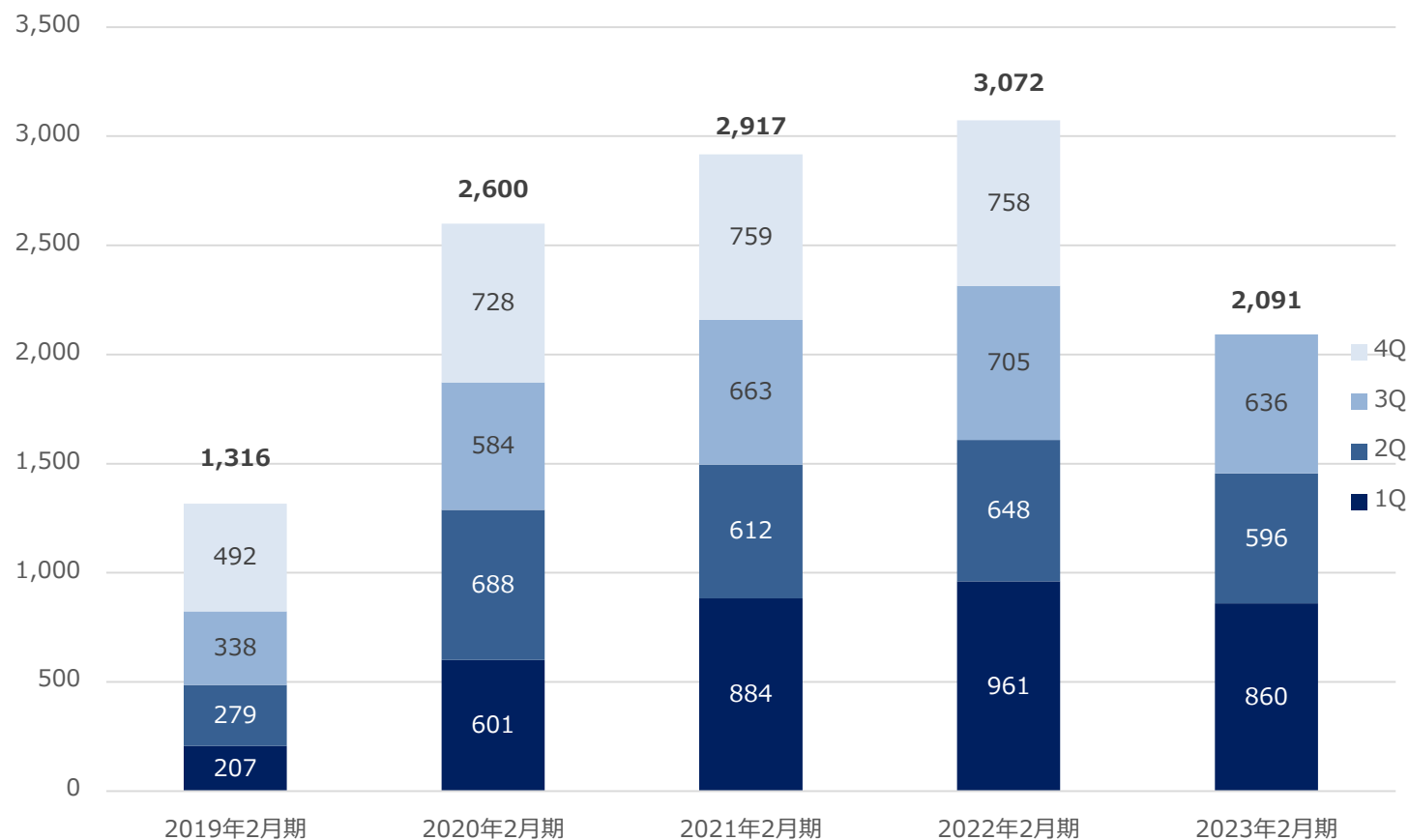
(単位：百万円)

	2022年2月期 第3四半期	2023年2月期 第3四半期	前年同期比
売上高	2,182	2,191	100.4%
営業利益	406	475	117.0%

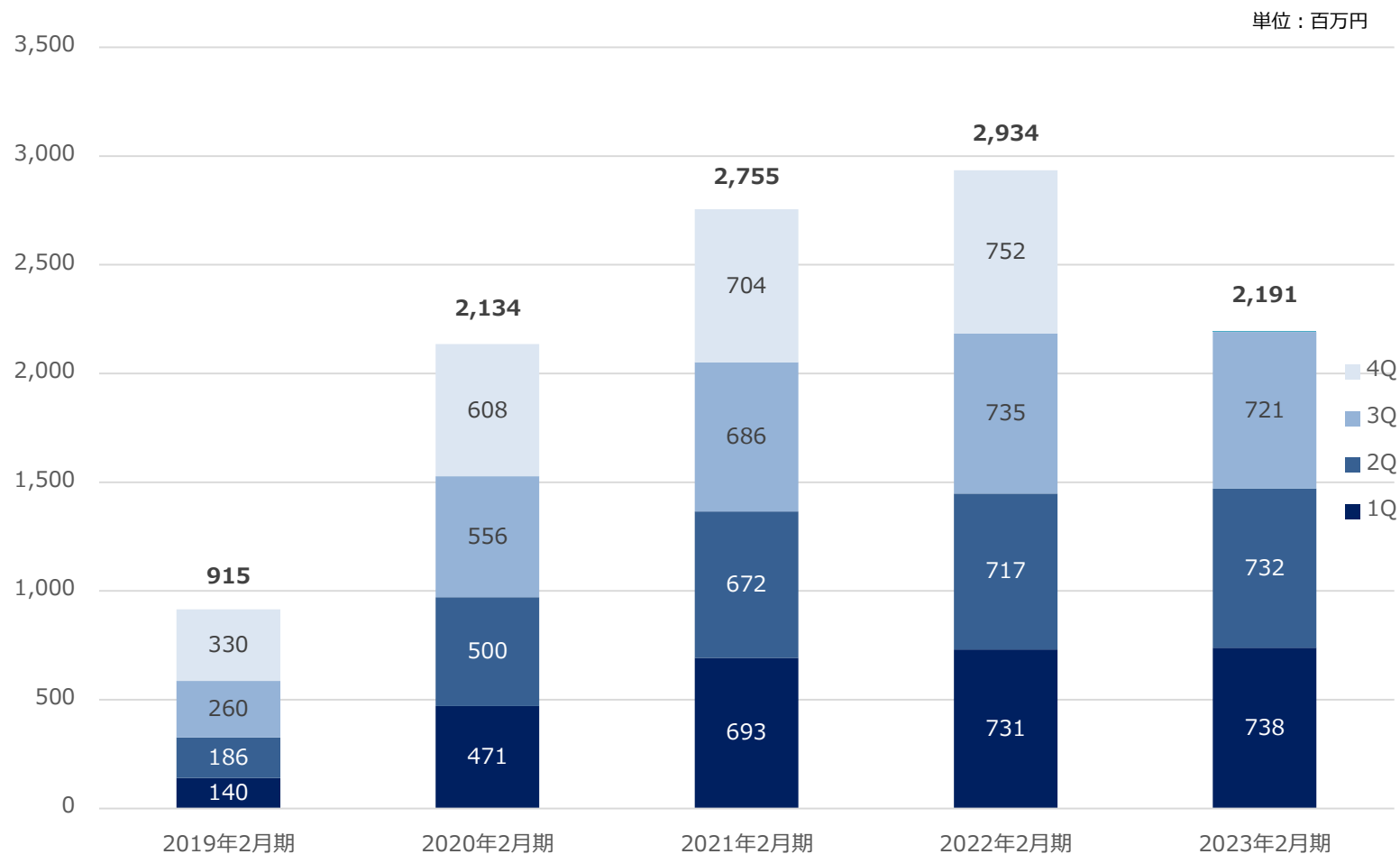
- ・売上高は対前年同期比で+0.4%とほぼ横ばいになった。
- ・営業利益については費用最適化が継続しており+17.0%となった。

MT事業 受注高推移

単位：百万円

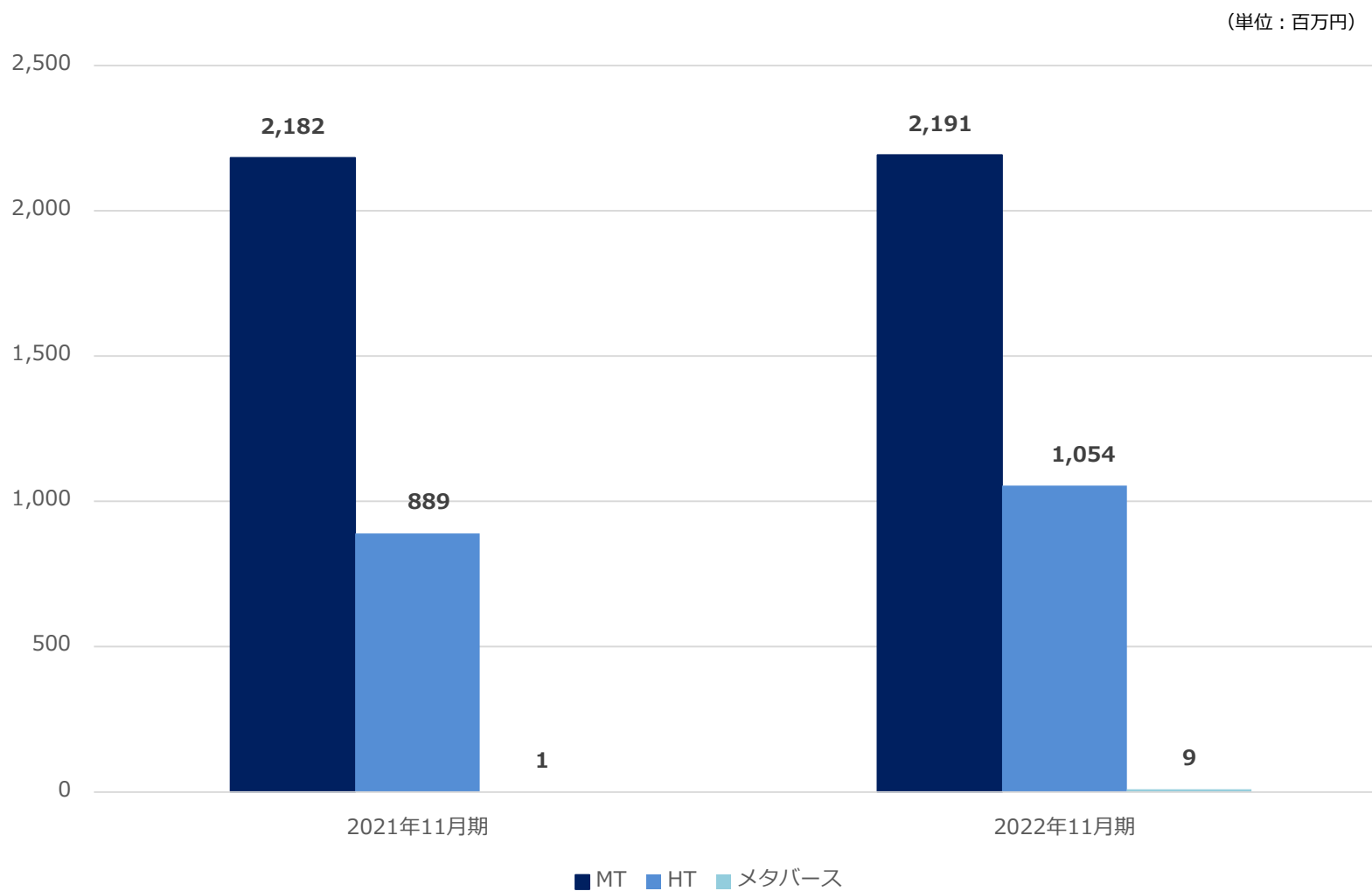


- ・ 受注ベースでの売上推移（財務諸表上の売上ではない）。
- ・ 外部への販売数値のみ（グループ内部取引による売上を除く）。

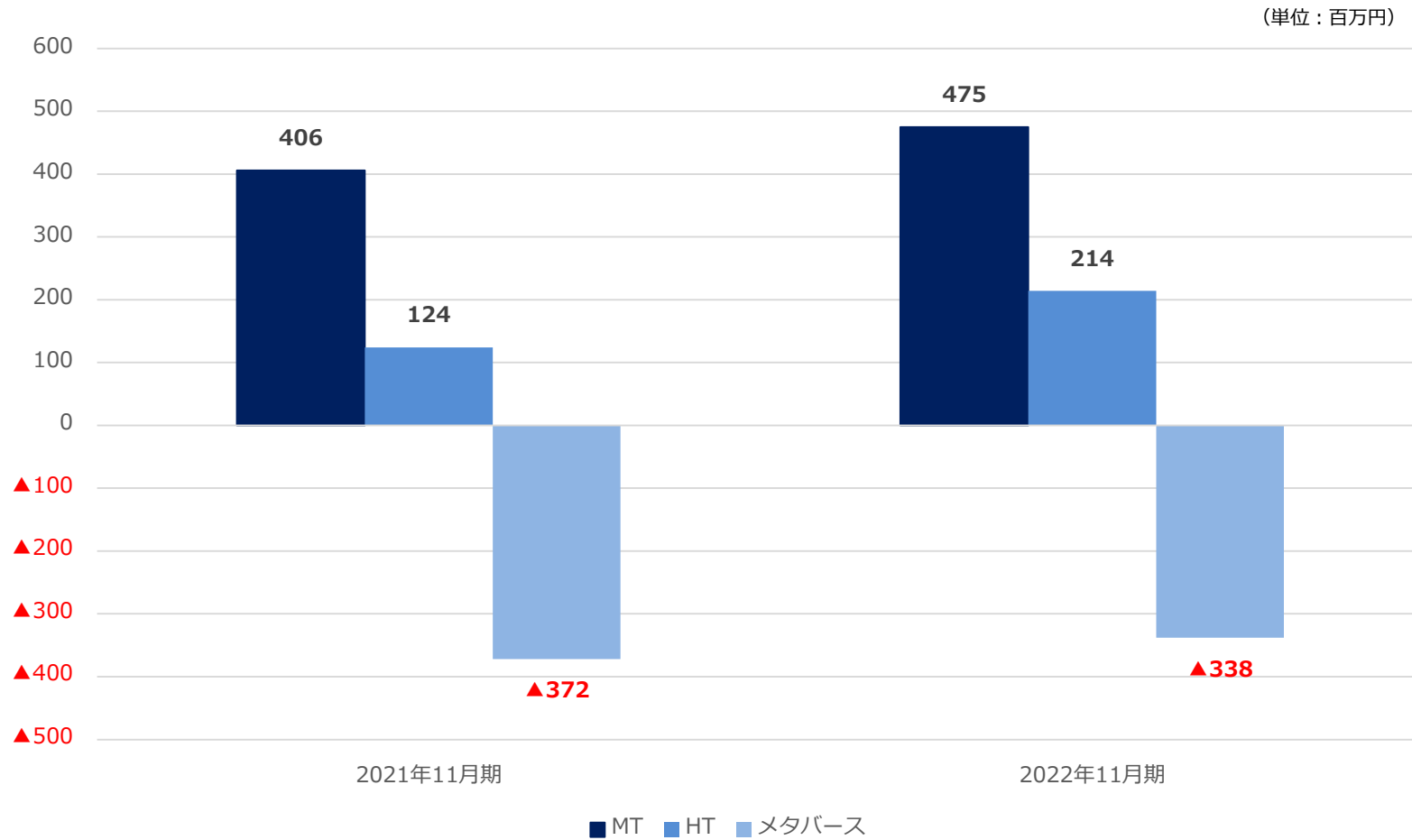


・ 外部への販売数値のみ（グループ内部取引による売上を除く）。

セグメント別売上高 前年同期比較



セグメント別営業利益 前年同期比較





成長戦略（メタバース事業）

第1の特徴

リアリティ・メタバース

世間一般のメタバースがアンリアル（ゲーム・CG・アニメ）が中心であるのに対して 当社はリアル（実生活・実写）をコンセプトとしてポジショニングしている
「メタバース=アンリアル」と「AR=リアル」のブリッジ

第2の特徴

メタバーサー構想

ワールドを作成したりイベントを開いたりするユーザー（メタバーサー）による自律駆動のメタバース

第3の特徴

AI x メタバース

当社のメタバースは「リアリティ・メタバース」が特徴。メタバーサーがワールドを自律的に生成しイベントや交流を行うプラットフォーム。それを支えるのが、メタバースワールド自動生成等のAI技術群となる。

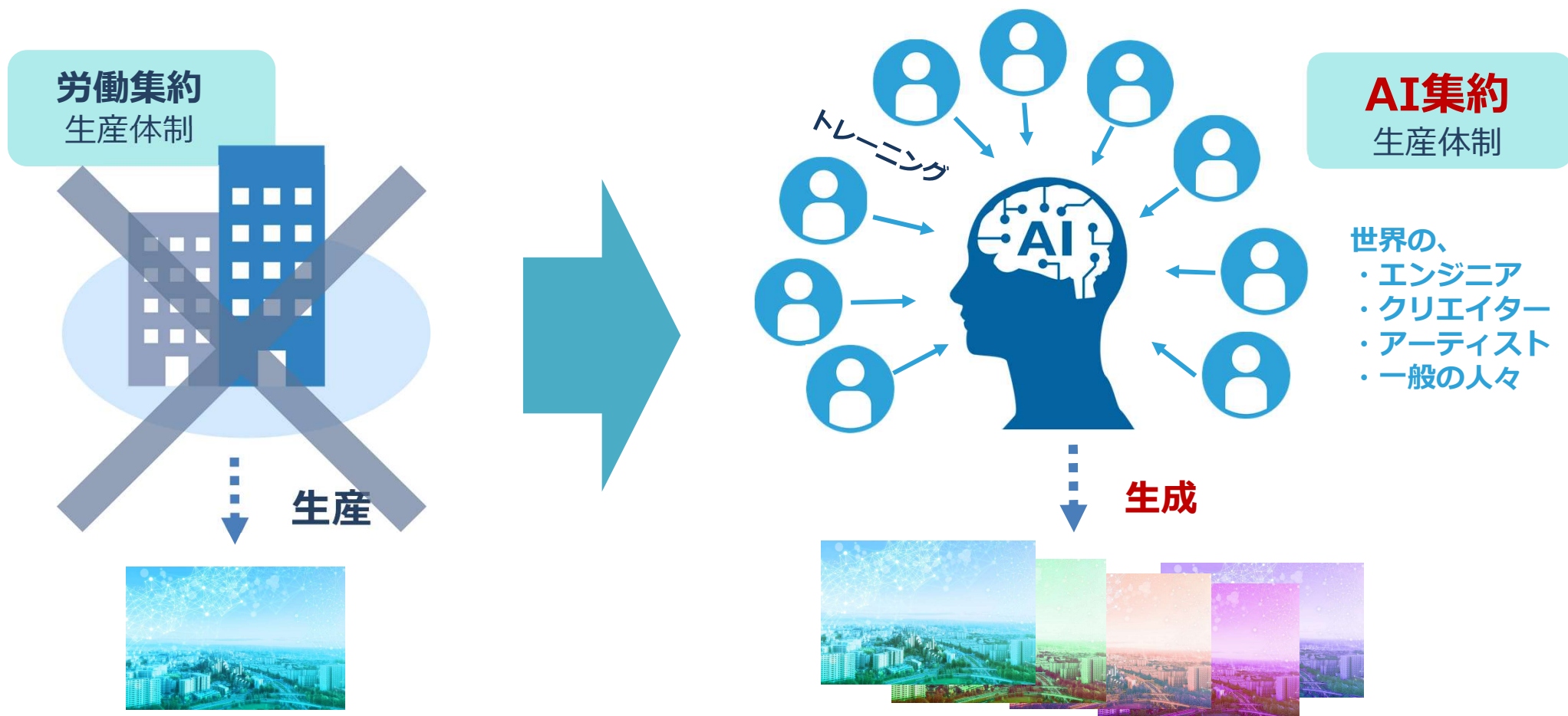


AI x メタバース

ワールドの生成から体験まで

AI集約的ワールド生産体制

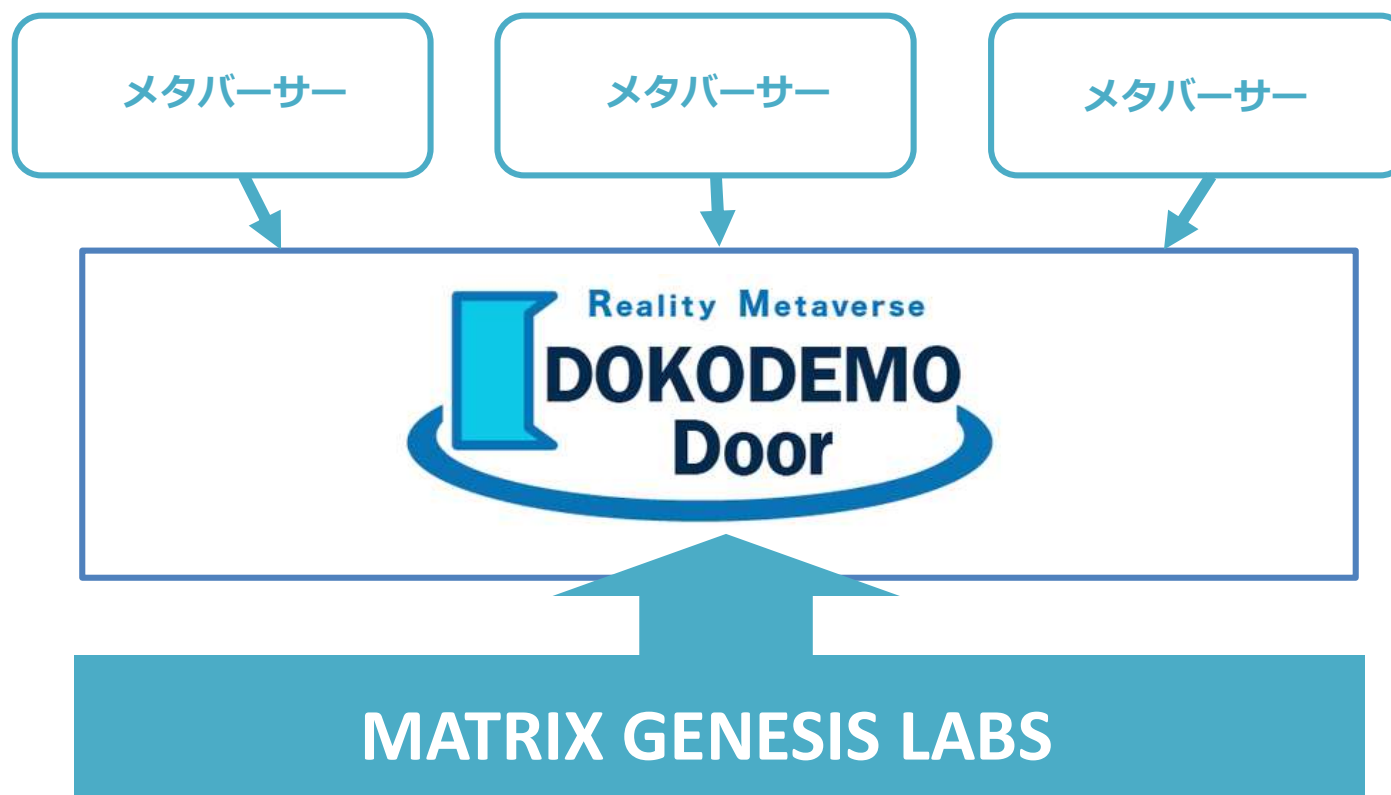
当社はAI集約的なメタバースワールド生成を採用。世界のエンジニア、クリエイター、アーティストたちはAIのトレーニングを通して、また、一般の人々はAIを利用して、それぞれの創造性を発揮する。労働集約的な作業は不要になり、膨大かつ多様なワールドがAIにより自動生成される。





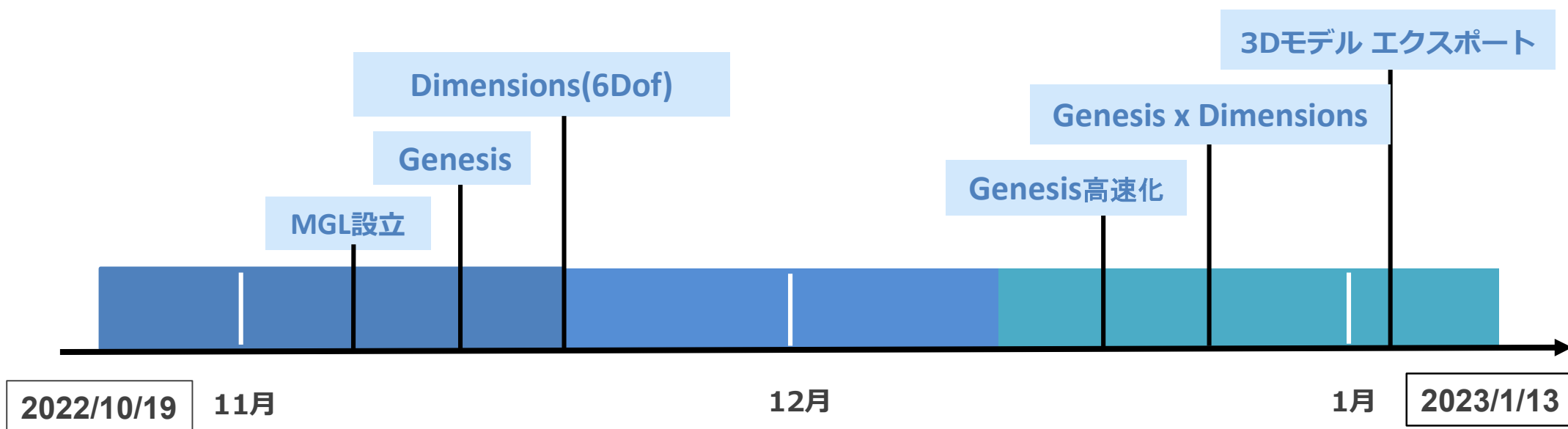
AI等の各種先端技術が、将来の私たちのメタバース空間での生き方にどのような影響を与えているのかを想像し、それら生乾きの技術を生乾きのまま実験的に統合実装することで、「触れるビジョン」として高速に公開し続ける、プロトタイプングチーム。

MGLは、リアリティ・メタバース・プラットフォームである「どこでもドア」の下部組織として配置され、プラットフォームのコア技術を支える。メタバーサーは、先端技術をいち早く自身のコンテンツに活用できるようになる。



この3ヶ月間の進捗実績

- MATRIX GENESIS LABSの設立
- AIによるワールド自動生成モデル「Genesis」の生成
- 2次元ワールドの3次元化と6Dof化モデル「Dimensions」の生成
- Genesisワールド生成速度を35%高速化
- Genesis と Dimensionsを統合
- 上記で生成された3次元映像を3Dモデルとしてエクスポート



各技術の紹介

Project Genesis

「Genesis」はAIを用いたメタバースワールドを自動生成するジェネレーティブAIで、当社を象徴するコア技術に位置付けられる。当社の膨大なワールド映像資産を活用し、高速に高精度なワールドを生成出来るよう鍛え上げ、無限に広がる豊穡なメタバース空間を提供する。

ワールド自動生成モデル「Genesis」のデモ動画



https://www.youtube.com/watch?v=qgG50wht_fk



Project Dimensions

「Dimensions」は、2次元の360度映像を3次元化し、さらにその中を自由に動き回れるようにするためのAI技術。通常、360度カメラで撮影された映像は、撮影時のカメラ位置で視点が固定されるが、「Dimensions」がその課題を解決する。



https://www.youtube.com/watch?v=IYA1kaM_yP8

GenesisとDimensionsの統合



「Genesis」で生成された2次元の世界空間を、「Dimensions」で3次元化し、世界内を移動可能とすることに成功。さらに、世界と世界をシームレスに繋げる技術を開発することで、無限に移動可能な広大な「リアリティ・メタバース」を創出する。

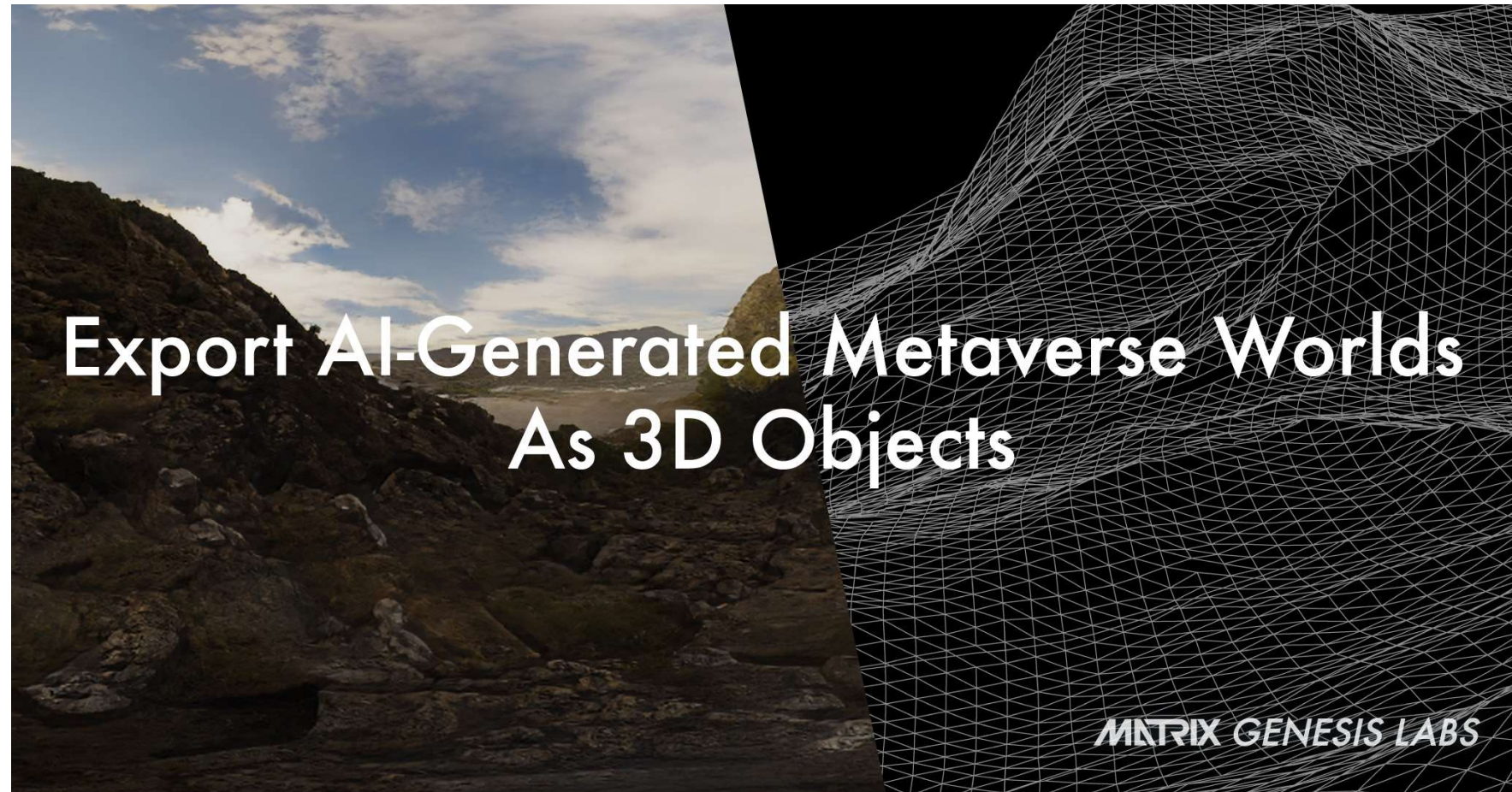
GenesisとDimensionsの統合のデモ動画



<https://www.youtube.com/watch?v=2uduNpZ-1kU>

自動生成ワールドを 3Dモデルとしてエクスポート

「Genesis」と「Dimensions」によって生成された3次元ワールド空間を、3Dオブジェクトファイルとして外部にエクスポートすることができるようになった。これにより、AIと人間のクリエイターが共同で、より高度なワールドを構築することが可能となる。



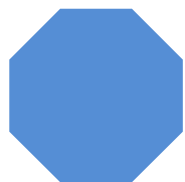
<https://www.youtube.com/watch?v=6J0ocusWDtY>

ここからの3ヶ月間予定

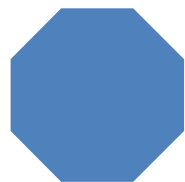
ここからの3ヶ月間で、これまでに発表したAIモデルの精度向上のための機械学習を継続し、一定精度に達したものから順次β版の一般公開をしていく。さらに、複数の新技術の開発と、メタバースの相互コミュニケーションを活性化する各種機能の開発に着手する。



高精度化とβリリース



各種新技術の開発



コミュニケーション機能



2023年2月期 業績予想

2023年2月期連結業績予想（修正後）

◆連結業績予想及び前年実績

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
2023年2月期	4,240	1.9	400	335.1

◆セグメントごとの連結業績予想及び前年実績

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
2023年2月期				
MT事業	2,870	▲2.2	570	49.8
HT事業	1,360	11.5	250	37.2
メタバース事業	10	121.1	▲450	-
その他本社費等	-	-	30	310.6

連結業績予想の修正につきましては、2023年1月13日公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

ご留意事項

- 本資料は、株式会社メタリアルルの業界動向及び事業内容について、株式会社メタリアルルによる現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- 株式会社メタリアルルの実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- 本資料における将来展望に関する表明は、2023年1月13日現在において利用可能な情報に基づいて株式会社メタリアルルによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

本資料のお問合せ先
株式会社メタリアルル
グループ管理本部
メールでのお問合せ：ir@metareal.jp